

自由意見

「自治会・地域コミュニティ活動」について

「地域コミュニティ活動」について、あなたが日ごろ感じていることやアイデアなどを自由に記入してください。

地域コミュニティ活動への参画について （68件）

- 他人とは深くかかわる必要性を感じない。干渉されたくない人間もいることをわかってほしい。
(男性 20代)
- 時間がなくて参加できません。
(男性 20代)
- 全くわかりません。地域とかかわりがないです。独身寮の人たちは同じだと思うので、各事業者に寮生の参加を呼びかける必要があります。
(男性 20代)
- 参加する年代が偏ってしまうものが多いので、家族、学校、友人以外でのふれあいの場があればよいと思います。
(男性 30代)
- 地域の高齢化に伴う人材不足解消のために、気軽に参加できる環境が必要だと思われます。
(男性 30代)
- 働き盛りで仕事に追われていると、地域のことにかかわっている余裕がない。
(男性 30代)
- 限られた人たちではなく、市民が気軽に参加できるようにすればよい。内容の一新と情報の伝達方法の改善が必要。
(男性 40代)
- 地域社会の役に立ちたいと思うが、ある程度の経済的余裕や時間のある人でないと難しいと思う。人の集まりの中ではどうしても上下関係、派閥のようなものができるので、その煩わしさ乗り越えてでもやりたいと思える活動がない。少人数で気楽にできるのであればやってみたいと思うが。
(男性 50代)
- もっと気楽に活動できるようにしてほしい。
(男性 50代)
- 住民が参加しやすい活動になってほしい。
(男性 50代)
- 防災訓練を9月1日にこだわらないで、第一日曜日にしたら、もっと参加者が多くなるのではないか。
(男性 60代)
- 地域で決めたことには必ず参加するというのが、地域コミュニティ活動につながると思う。
(男性 60代)
- 一部の人に負担が偏りがちなので、もっと多くの人に、ボランティア活動に関心を持ってほしい。
(男性 60代)
- 自分の地域コミュニティ活動に参加したいと思っているが、自分の生活に追われて、参加できない。
(男性 60代)
- 町内の行事を役員だけの行事とせず、多くの人を参加させるほうがよいと思う。
(男性 60代)
- 時間をつくるのが難しい。
(女性 20代)

- 町内会など、加入するのを面倒だと感じる人はふえていると思う。でも加入していないのに、ごみ収集や街灯などのサービスが受けられるのは不公平なので、強制加入にしてしまえばよいと思う。 (女性 20代)
- 役割を大きくしないと地域コミュニティが崩壊すると思う。参加したくてもできない人に情報を流すなどして、参加しやすい環境をつくらないといけない。やりたい人ができないことは、もったいないと思う。 (女性 20代)
- 参加しやすいシステム・行事をつくる。 (女性 20代)
- もっと多くの人々が活動できるようになればいいと思います。 (女性 20代)
- 同じ世代の人が集まることができる活動をたくさんつくってほしい。アパートやマンションなどの人たちも参加するような地域活動があればよいと思います。 (女性 20代)
- まだ参加したことがないのですが、何か自分にできることがあれば参加したいと思っています。自分たちが住んでいる地域を自分たちで考えて、よりよいまちにできたらと思います。 (女性 20代)
- 従来の慣習などにとらわれてしまって、効率的ではないと感じる。実施することとしないことを分け、効率的に活動することで参加しやすくなると思う。 (女性 30代)
- 活動は強制するものでなく、自主的に参加するのが望ましい。参加せずとも個人個人で取り組める内容もある。情報を共有して、一人一人の意識を高くしていけばさらによくなると思う。 (女性 30代)
- 富士市に来て、ほとんど地域の活動に参加していません。 (女性 30代)
- よく知らないのでアイデアも書けません。住民としての役割分担はきちんと果たすつもりですが、それ以上に積極的に活動にかかわる機会はないと思います。 (女性 40代)
- 面倒で、かわりたくないという気持ちを持つ人が多いと実感します。まず、意識が変わっていくようなことをしなければ、活動は広がっていかないと思う。 (女性 40代)
- 積極的に活動している人は、高齢者や特定の人たちに集中しているように感じます。幅広い年齢層に参加してもらえるような工夫が、これからもっと大事かなと思います。 (女性 40代)
- 活動に参加していなかった人たちの中にも、さまざまな知識や能力のある方々はたくさんいらっしゃいます。参加していただけるために、どうすればよいか難しいです。 (女性 50代)
- 以前住んでいたアパートは2か所とも会社の社員寮として使われていて、家族で住んでいる人たちにはすぐに班長や役員が回ってきてしまった。外国人や一人暮らしだから参加しないということなく、平等に地域コミュニティ活動に参加してほしいです。 (女性 50代)
- 正直、毎日の生活に追われて、活動に参加しようという心の余裕がありませんでした。しかし、60歳近くになったら地域の活動にも参加し、自分のためにも積極的に活動したいと思っています。 (女性 50代)
- 30軒の小さな町内ですが、毎年町内の行事は大切に行っています。しかし、この町内でも少子高齢化が進み、今後、伝統行事の維持が課題となってくることと思います。どの世代の人も、気軽に行事に参加できる方法を、皆さんと考えていけたらいいなと思っています。 (女性 50代)
- 組織が大きくなると組織力も大きくなり、メリットはあるが、組織が複雑になり、一般の人々には理解できないことがある。拘束される時間も多くなり、簡単に引き受けられるものではない。年をとれば体力も弱ってくるので、参加したくても無理になっていくように思う。商店街での参加と住宅地での地域参加では、考え方に違いがあるように思う。 (女性 50代)

- 子どもが小さいころは、子ども会などに参加したため、近所との交流がありましたが、最近はコミュニケーションがだんだん減っていると思います。いろいろな活動にみんなで協力してけるとよいと思いますが、奉仕活動に出席する人は限られているのが現状です。(女性 50代)
- 仕事をしているため、なかなか参加できません。余裕ができれば少しずつ始めていけたらと考えています。(女性 50代)
- 今は活動に参加していないが、将来自分が高齢者になったとき、地域とのつながりが重要になると考えます。少しずつ参加できるようにしたいです。(女性 50代)
- 自発的に参加しようとは、ほとんど思いません。しかし依頼されたら気持ちを楽しんで参加しようと思っています。(女性 50代)
- 各団体で事業をする場合、参加者を募集するのに苦労する。回覧板などで参加者を募集するが、少人数しか集まらないので、結局各種団体に動員を求めてしまう。もっと一般の人が地域コミュニティ活動に興味を持って参加してほしいと思う。(女性 50代)
- 新しい住民は地域に入りにくい。しかし新しい人たちにも参加してもらい、活動の場を広げていけたらいいと思う。(女性 50代)
- 仕事をしていると、参加は無理かもしれない。自分の休みが不定であるから、日にちが決まっていると参加しづらい。(女性 50代)
- 町内の自治会に参加するのは、組長になったときだけです。そのため活動への参加も限られ、方針もほとんどが町内会長の一存なので意見は出せません。しかしいろいろな意見が聞けると思うので、さまざまな年代の参加が望ましいと思います。何かの機会があれば活動に参加したいと思います。(女性 60代)
- 仕事をしているので、参加したことがありません。(女性 60代)
- 高齢化に伴い、地域コミュニティ活動に参加しやすい状況をつくっていくことが望まれます。(女性 60代)
- 現在、地域コミュニティ活動は活発だと思いますが、まだまだ平等に参加できているとは思わない。高齢者や障害者の行事参加がスムーズになればいいと思う。(女性 60代)
- 高齢者や障害者に対する地域コミュニティ活動の参加者は余りにも少なく、少数のボランティアの方々や、福祉施設関係や通所デイサービスに任せっ切りになっている。独居者や高齢者には地域参加が難しい時代となっている。(女性 60代)
- 車を運転できないので、地域の活動に出られない。(女性 60代)
- 余り時間に余裕がないため、なかなか協力をすることができない。(女性 60代)
- 仕事をしていたために地域コミュニティ活動には協力していませんでしたが、ことし6月に会社を退職したので、これからは地域のために活動していきたいです。(女性 60代)
- 体調を崩してから、参加したいと思ってもなかなか参加できないのが残念です。これからも関心は持ち続けていきたいと思っています。(女性 60代)
- 今までに幾つかの活動に参加しましたが、今は休止中です。最初は断れなかったり、順番だったり積極的にではなかったのですが、活動していく中で、仲間との輪が広がり、楽しく活動してきました。地域活動に批判的な人たちにこそ参加して、楽しさを味わってほしいと思います。(女性 60代)
- 今まで余り参加していなかったのですが、これからは健康的で明るく前向きに生活できるよう、自分に合った活動に参加したい。また、行政と地域が協力し合うことがよいと思う。(女性 60代)

- 自分で責任を持って参加するように呼びかけていく。 (女性 70歳以上)
- 各地区の役員や組長などになったときは活動に参加しますが、普段は参加しません。 (女性 70歳以上)
- アパート暮らしの人々にも呼びかける必要があります。 (不明 20代)
- 今の世の中、これからの世の中のためにも、活動に参加していくべきだと思います。しかしなかなか素直に参加できないのが現状です。すぐできることや小さなことからでも、進んで参加していきたいと思います。 (不明 40代)
- 煩わしいと思っている人が多いと思う。 (不明 50代)
- 今のところ活動には積極的に参加したいとは思わない。 (不明 50代)
- 家の管理や日常的にしなければならないことが多く、また体が余り丈夫ではないので、ほとんど貢献することができず、申し訳なく思っています。 (不明 50代)
- 地域住民の高齢化により、班長の仕事が負担となり、5年・10年先が不安です。若い世代が多い地域とそうでない地域の差が大きく、いろいろな行事への参加も考えなくてはならない時代になりました。 (不明 50代)
- 現在、働いているため活動はしていないが、家にいるようになったらぜひ参加します。周りに参加している人がいて、話を聞くと楽しそうです。 (不明 50代)
- 仕事で参加できない人に、無理やり参加せざるを得ないようにしないでほしい。地域の活動にもっとシニアの世代を参加させてほしい。 (不明 50代)
- 住民にとって気軽に参加できる活動であってほしい。リピーター中心にならず、すべての住民が一度は参加する企画も必要だと思う。 (不明 50代)
- なかなか参加するきっかけがない。一人でも気軽に仲間に入れる場であってほしい。 (不明 60代)
- 地域コミュニティ活動には、役員の時だけしか参加しないのでよくわからない。 (不明 60代)
- 一部の人たちの活動でなく、大勢の人が参加できるような活動を広める。 (不明 70歳以上)
- 健康ですが、高齢のため地域コミュニティ活動は何もしておりません。 (不明 70歳以上)
- 高齢のため、参加する機会が少なくなりましたが、今後は発展を見守りたいと思います。 (不明 70歳以上)
- 地域コミュニティ活動が活発な町内なら、私も参加したいと思います。 (不明 70歳以上)

地域コミュニティ団体の運営方法について (67件)

- 規則をつくり過ぎている。 (男性 20代)
- 活動しているが、実質的な効果は少ないと思う。補助金を受け続けるために活動しているふりをしている組織もある。 (男性 40代)
- 活動が活発であり続けるために、人材発掘や後継者の育成が必要。また、特定の人が長く中心に居座り続けることの是非について議論が必要。 (男性 40代)
- 達成する目的があり、それに必要なものが協力であり、地域コミュニティ活動だと思う。予算を取るための地域コミュニティ活動にならないことを願います。 (男性 40代)

- 人を集めるだけでは地域コミュニティ活動が広がらないので、目的を明確に持った人間が中心になり、集まったときに目的を伝えることが大切です。 (男性 40代)
- 自由に活動できるシステムをつくる。 (男性 50代)
- 地域社会も、すぐれた指導者がいて、有意義な活動がされれば意味のあることと思うが、誤った方向に進むとむだなもの、有害なものとなる恐れがある。地域のリーダーの育成が重要な課題であると思う。 (男性 50代)
- 活動を見直して、見合うだけの予算を出して活性化したらどうか。 (男性 50代)
- 強制をし過ぎて、生活にゆとりがなくなってしまう。 (男性 50代)
- 税金がむだに使われていないこと、有効に使われるように努力されていることが、ふだん余り参加しないのでわかりづらいです。 (男性 50代)
- 同好会やサークルなど、10名以上の団体の活動を支援してほしい。特に、スポーツや趣味の団体に遊休地や河川敷を管理させれば、地域の活性化や防犯、安全に役立ちます。 (男性 50代)
- 製造業やサービス業、小売業など仕事の時間や休日が多様化しているので、地域コミュニティ活動もそれらに対応しないと、参加できる人、参加しようとする人の増加は見込めない。 (男性 50代)
- 地域コミュニティ活動の果たしていく役割を大きくしていくことに賛成です。しかし、サラリーマンの参加しやすい曜日・時間帯にしないと、なかなか人が集まらないです。日本の労働時間は世界的に見ても長いので、まずはこれを改善しないと地域コミュニティ活動がうまく機能していかないのではないのでしょうか。 (男性 50代)
- 自治会の役員選出が難しい。 (男性 60代)
- ざっくばらんに話し合える場所がほしい。 (男性 60代)
- もっと障害者が活動しやすいようにしてほしい。 (男性 70歳以上)
- 明るい性格で市民の中に溶け込んで、一生懸命やる人材の育成と配置が必要。 (男性 70歳以上)
- だれかが役員をやらなくてはならないが、強制化するので嫌気が差して参加を避ける人が多くなるのではないかと。 (女性 20代)
- 夜間の活動をふやしてほしい。 (女性 20代)
- JR富士駅前の商店街はシャッターが閉まっている店ばかりで、新しくオープンしたかと思えば飲食店です。富士市外の人たちに印象を聞くと、とても悪いという答えが返ってきます。閉まっている店を地域コミュニティ活動の場として使っていけばいいのではないのでしょうか。 (女性 30代)
- 役員になったときの精神的負担が大きい。仕事をしていると休みの時間・曜日を活動に充てることになる。 (女性 30代)
- 私は人と接することが苦手で、依頼されて会合に参加したときも、助言をしてくれる人もおらず、苦痛でした。私には身近に子どもの面倒を見る人がいないので、子どもたちを留守番させたり、仕事の途中で主人に帰って来てもらったりと、何かと困ります。ずっと同じ地域に住んでいる人や、生活に余裕がある人ばかりではありません。役員選出も、押しつけ合いで、しまいにはくじ引きというときもあります。 (女性 30代)
- いろいろな団体の相互協力が大切だと思う。 (女性 30代)
- 特に若い夫婦は子育てに忙しく、時間が足りないと思うので、負担になり過ぎないような役割分担を考え、参加する時間も短くすればよいのではないのでしょうか。 (女性 30代)

- 会合のときは、いつも幼い子どもを2人、家に留守番させていました。子どもは連れていけないのが暗黙の了解でしたが、おかしいと思います。地域のことに協力している間に、家で何か起きてからでは遅いと思います。子どもの数は少なくなっているのに、昔からの行事は残っていて、役員の仕事は大変になるばかりです。2人の子どもがいますが、町内の子ども会の役員のことを考えると3人目は産めません。(女性 30代)
- 共働き家庭がふえています。互いに気持ちよく活動するために、強制ではない活動にしてほしい。(女性 40代)
- 地域コミュニティ活動の主体を、子育て中の人や仕事の現役世代が担っているとしたら、負担が大き過ぎて続かないと思う。女性の就労支援と同時に、PTAや子ども会が母親中心だというあり方を見直すべき。行政が問題提議しないとイケない。(女性 40代)
- 子ども会には強制加入させられた。役員になると、行事で1日中自分の子どもはほったらかしで御飯もきちんとしてあげられない。納得できない。(女性 40代)
- 小学校のPTA活動や校区子ども会では、週に何回か夜遅くまで会合があり、役員の負担が重い。幼児や児童を家に留守番させて出かける家もあるようです。もっと安心して活動ができるよう改善してほしいです。(女性 40代)
- 常に同じ人が上に立っていて、新しい人は入りづらい。(女性 40代)
- 昔のままのやり方では、各家庭への負担が大きく、参加するために仕事を休まなければいけない場合もあります。活動に参加することは、コミュニケーションをとる大切な機会でもあるので、活動時間や内容を変えることも必要だと思います。(女性 40代)
- マンネリ化と役員だけの地域コミュニティ活動にならない工夫が必要。若年層の考え方が、以前と随分変わっているのに、活動は余り変わっていない。(女性 50代)
- 子ども会やその他の地域の活動の役割が多過ぎる。(女性 50代)
- これからは、地域同士の協力が必要になる時代だと思うので、地域コミュニティ活動の役割は大きくなると思います。しかし、それをまとめるよい人材を毎年確保できるかどうかの問題になると思います。(女性 50代)
- 地域活動も強制的になると負担になってしまうと思います。(女性 50代)
- 今の若い人たちは、自分が遊ぶことを中心に考えているので、子どものときからボランティアなどの地域を愛する気持ちを育てる行事を企画してほしい。また、地区まちづくりセンターを平日の昼間に利用できる人は、働いていない高齢者や子育て中の親子なので、その人たちが参加したいと思う行事と、その行事に参加を促すリーダー的役割の人が必要だと思います。(女性 50代)
- 世代交代ができず、新しい提案も無視され、前はこうだったからという一言で決まってしまう。若い人たちがみんな、活動に参加し嫌な気持ちになり去っていくことが多々あります。現状は地域活動の協力者がまったくいなくなりつつあると思います。(女性 60代)
- 今まであまり参加していないのでよくわかりませんが、いつでもだれでも自由に集える場所があればいいと思います。(女性 60代)
- 仕事をしながら役員をすることは、大変で無理が生じます。(女性 60代)
- 一部の役員たちだけの活動になっており、一般の人は余り関心を持っていない。もっと多くの人に活動を広げていく工夫があるとよいと思う。(女性 60代)
- なかなか役員になる人がいなく、各年代で苦勞しています。(女性 70歳以上)

- 内容がわかりません。別件ですが、区長と民生委員が同じ人で、区長としての仕事が多忙のため、相談に行けません。区長と民生委員とを別々の人に分けてください。 (女性 70歳以上)
- 年齢的に無理な場合もありますが、また各種団体の役員が回ってきたときは、全力投球で頑張っていければと思います。 (女性 70歳以上)
- 本当は活発になってもらいたいと思うが、時間や人間関係のコミュニケーションがとりづらく、ますます活動は一部の人だけになるように思われる。 (不明 40代)
- 近所づき合いが希薄になっていく昨今、たまたま近所になったというだけで無理やり仲よくしようというよりも、同じ趣味・年代の仲間とのつき合いを重視したほうがいいと思う。町内会費・班費などの徴収があっても、還元されているかよくわからない。 (不明 40代)
- 子どもが小さく、祖父母が同居してない家庭では、夜など会合や学校が休みのときの活動で夫婦そろって出席する場合、子どもだけでも留守番をさせなくてはいけない。その現状を言っても、昔もそうだったなど言われてしまう。しかし、今の時代、変質者や泥棒が多く、子どもだけで家においておくのは怖い。そういう家庭にはもう少し周りの配慮がほしいが、人数が少ないからといって出席しなくてはならない状態である。地域の人数が少ないのに行事が多いのもどうかと思う。特に元吉原地区など、高齢者ばかりで子どもが少ないのに、運動会があることがおかしい。 (不明 40代)
- コミュニティができたときの状況と現状との環境が大きく違ってきている。活動するためには人を集めることが必要なのに、その環境が整っていない。例えば、何をするにも車での移動が欠かせないが、駐車場のスペースがどこも不足しており、建物も老朽化してきている。また、若年層の参加が少なく、高齢者の占める割合が多いので、若年層の参加をふやす必要がある。 (不明 40代)
- 正直な気持ちを言えば、煩わしく面倒に感じている。しかし地域社会を安全・健全に保つためには必要なことだと思う。かつて存在した、農作業と結びついたコミュニティを、会社員の集団に当てはめるのは難しいのじゃないかと思うこともある。 (不明 40代)
- 一部の人は、町内会費・組費・入会金など、全然出さないで生活している。苦しい中、まじめに頑張って支払っている人が多いのに、どうしても平等に徴収できないのかと感じます。 (不明 50代)
- 現在の地域コミュニティ活動は、自発的ではなく半ば強制であり、こんなものはやめるべきである。 (不明 50代)
- 市民、地域の人々の意見を聞いてもらいたい。 (不明 50代)
- 現在、地域の子どもたちを応援するボランティア組織のNPO法人化に向けて検討を始めています。一番必要なのは、その必要性の認識とみずから行うことだと感じています。 (不明 50代)
- 役員は、任期が終わったら再任を認めないほうがいいと思う。 (不明 50代)
- 行事に応じて各団体が協力してやっているといます。新たな団体からの協力要請があるとき、役員の柔軟な対応が大切だと思います。また、NPOや新団体は、地域をよく理解するための時間を惜しまず、対応していただきたいと思います。 (不明 50代)
- 役員をやったことが縁で、地域活動にかかわるようになりました。熱心に活動されている人たちに出会えてよかったと思っています。時間的にも、どうしても仕事をリタイアした人が中心になりますが、若い世代が無理なく活動に参加できる環境づくりが必要だと考えます。 (不明 60代)

- 親が地域の役員をやっていると、その子どももまた役員をやり、別のところから来た人はなかなか役員にはなれない。私たちは楽でよいが、別の人がやってもよいと思う。 (不明 60代)
- 小学校や中学校をコミュニティ広場として活動する。 (不明 60代)
- 活動に参加する人は、地区全体で何%でしょうか？地区まちづくりセンターには、健診に行くぐらいではないでしょうか。予算のこともあると思いますが、みんなが「きょうは参加しよう」という気持ちが出るような、企画・運営を考えてください。 (不明 60代)
- 防犯のためにも地域内での声かけや、あいさつをすることが必要だと感じます。いろいろな施設を建設していますが、どんなことをしているのか知らない人もいるので、情報を発信し、人と人とが輪になる場として気軽に活用できたらよいと思います。 (不明 60代)
- 地域コミュニティ活動といっても人とのかかわりが大事だと思います。 (不明 70歳以上)
- 地域団体への助成金が、むだと思える用途にしか活用されていない。安易な助成金には見直しが必要だと思います。 (不明 70歳以上)
- 地域間の融和のために交流を活発化する。ボランティア精神の高揚を図る。 (不明 70歳以上)
- 体育祭や交通安全協会の地区の行事などは、子どもや若い人が少なくなって、人を集めるのが困難になっておりますので、各町内単位の行事にしてもらいたいと思います。 (不明 70歳以上)
- 地域によって違いがありますが、昔からこの地域に住んでいる人が実権を握ったりすることや、役員の事なかれ主義が、地域の発展に支障を来している場合がある。 (不明 70歳以上)
- だれもが参加しやすい時間にしてほしい。 (不明 70歳以上)
- 活動日を週の初めに集中させるのではなく、後半にも設定してほしい。 (不明 70歳以上)

地域コミュニティ活動の活動内容・役割について (65件)

- もう少し活動の方法を考えてほしい。 (男性 30代)
- もっといろいろな面で活発にやってほしい。 (男性 30代)
- 重要だと思われる活動を厳選して、重点的に行ったほうがよいと思う。 (男性 30代)
- 同じ地域に住む、幼稚園入園前の子どもたちが集まって遊ぶ活動をふやす。また親も一緒に参加できる活動をふやすことにより、親が友人をふやすことができる。 (男性 30代)
- 世代間の断絶があり、うまく機能していないように感じられます。転入してきた人や外国人と上手につき合えるような取り組みも、今後できるようにしていくとよくなると思っています。 (男性 30代)
- よくなるのなら、しっかり活動してほしい。 (男性 30代)
- 地域の人たちが交流し、助け合うことはとても大切なことである。私は自分の生活にゆとりがなく、地域コミュニティ活動に積極的には参加していないが、今後地域での活動がより充実すればよいと感じている。 (男性 30代)
- 世代が変化していくとともに、近所づき合いが減り、活動なども減っていくと思います。なぜなら今の若い人たちは、自分の立場や常識を知らないからです。もっともっと活動をふやしていくには、年配者が教えていかないとだめになっていくと思います。 (男性 30代)
- ボランティアの充実が必要。 (男性 30代)

- ハイキングや、釣りなどを通して楽しく勉強会を行い、その結果地域コミュニティ活動を行うようになればいいと思う。 (男性 40代)
- 自分にとって専門分野の地域コミュニティ活動なら、積極的になり、スムーズに進むだろう。 (男性 40代)
- ふじさんめっせ、中央公園などでいろいろなイベントを開き、人々が集まるようにする。 (男性 40代)
- 水防団は、活動しているところを見たことがないので、必要ではないと思う。 (男性 50代)
- 当番でもないのに、缶や瓶などを整理している人がいました。見えないところで地域に尽くしている人は、本当にすばらしいと思います。そういう人が多くなればいいですね。 (男性 50代)
- 毎年行っている地震防災活動がマンネリ化しているので、2年に1回でもよいのではないかと。 (男性 50代)
- 個々の要求が多様にあるので、活動種類の充実を図るべきだと思う。 (男性 60代)
- 大人になっても子どものころの祭りを思い出すような催し物を企画し、盛り上げる。大きい地域では、町内会単位で催し物を発表し競う。 (男性 60代)
- 地震などの災害時に、市がすべきことと地域コミュニティ活動がすべきことの違いを明確にし、準備しておく必要がある。 (男性 60代)
- 毎年行われる文化祭が楽しみの一つです。 (男性 70歳以上)
- 各地域住民が関心を深めることが大切だと思います。 (男性 70歳以上)
- 毎週火曜日にごみの分別のボランティアをやっています。 (男性 70歳以上)
- 20~30代の若い世代が積極的に活動に参加できるように、スポーツや文化芸術のサークル活動などを通して、ボランティアなどにも参加できるような体制をさらに構築し、活気あるものとする。 (女性 20代)
- 時代の移り変わりとともに地域コミュニティ活動への期待も変化していくと思うので、昔と同じことを繰り返していただくだけではなく、オリジナリティにあふれた活動をしていくことが重要だと感じています。 (女性 20代)
- 地域コミュニティの役割についていま一度、行政、住民ともに再検討する時期に来ているが、住民にはそのような意識が薄いと思う。行政が地域コミュニティ活動やら協働と言っても、多くの住民は意味がわからないと思うし、受け身であっては効果が上がらない。市あるいは自治会は、どのようなことを行うのか、具体的でわかりやすい見通しを示すとともに、住民は近隣との関係づくりから始め、その地域に合った活動を行っていくべきだと思う。 (女性 20代)
- 地域コミュニティ活動がよくわからなかった。子どもから高齢者まで、幅広い世代と一緒に活動できたらいいと思う。コミュニティと保育園のコラボレーションをぜひやってほしい。高齢者や地域の人たち、園児とのかかわりの場として、地区まちづくりセンターを利用できたらすばらしいと思う。 (女性 20代)
- 高齢社会で、ますますひとり暮らしの高齢者がふえていくと思う。そうしたときに、地域のコミュニティ活動などを充実させ、孤独にならないようにしてほしい。 (女性 20代)
- 少子高齢社会なので、地域の活動にはもう限界が来ているような気がします。不景気で、どの世代も自分が生きていくことだけに精一杯なので、周りとのコミュニケーションや、まして時間とお金を割いてまでしなくてはならない地域コミュニティ活動は無理だと思います。 (女性 20代)

- 子どもがいないので、あまり身近に感じられない。 (女性 20代)
- 近所に住んでいるおじいさんが、地域コミュニティ活動と思われる交通安全の蛍光のベストを着て、自転車で見回りしているところを見かけると、交通安全はもちろん、防犯にもつながるのではないかと思います。 (女性 30代)
- 町内会の体育祭を行うことについて、必要性があるのかわからない。若い世代の参加率が低く、関心がないと思う。運動が得意ではないのに、仕方なく人数合わせで参加しなければならないことがある。依頼する役員の立場も大変だと思う。体育祭とは別の、地域の人に関心を持てる活動があればいいと思います。 (女性 30代)
- 子どもから高齢者まで、みんなで楽しめる活動をしてほしいです。 (女性 30代)
- 若い人が参加しやすい活動を充実させるべき。 (女性 30代)
- 1歳児の子どもを持つ母親として、地域の奉仕作業やイベントに参加したり、子育て支援センターを活用したりしていますが、自分の本音を発する場がないので、気軽に行ける、世代間交流を含めた意見交換の場が欲しいです。そういう場に参加することで、自分も安心できるし、より地域に根差した活動ができると思う。 (女性 30代)
- 地域コミュニティ活動に関心のある人となない人とは、とらえ方、受けとめ方が違うと思う。できるだけ多くの人に興味を持ってもらうには、やはり人を引きつける、魅力ある活動内容でなければならない。 (女性 30代)
- もっと子どもたちが楽しく遊べ、仲間ができるような地域コミュニティ活動があればいいなと思います。 (女性 30代)
- ずっと同じ活動をしていても参加者はふえないので、時代に合った活動をすべき。また女性部や生涯学習などは、30代から40代にとって強制的な活動になっていて、自主活動ではない。子育て中の世代は時間がないので、地域活動に時間をかけるのは、無理である。 (女性 30代)
- 30代から50代が参加しやすい活動を、取り入れてほしい。 (女性 40代)
- 簡単に参加できる活動を多くする。 (女性 40代)
- 重要な情報を、一部の人だけでなく、すべての人が認識しておく。意見を出し合いやすい人間関係を築くよう各々が努力する。催し物には、年齢や性別など初めから条件をつけずに、幅広い年齢層での会話、出会い、発見を広げていく。 (女性 40代)
- 高齢化で参加者が少ない運動会を、廃止してほしい。いつも同じメンバーで、一人で何種目もかけ持ちする。抜けようとするとか何か言われるし、だれのための運動会なのかわからない。選手を決めるとき、いつももめて体育委員だけが大変な思いをする。参加しない自治会の子どもは学校でいじめに遭うなんて、おかしいと思う。 (女性 40代)
- だれが区長かわからないし、また特に何もやることはないです。しかし、ごみを出した後の掃除、側溝のごみ拾いなどの清掃活動をしたいです。そのような活動が、きれいで安心なまちづくりにつながっていくと思います。 (女性 40代)
- 子育て支援として、乳幼児が安全に遊べる児童館を設置する。また、同じ悩みを持つ親たちのコミュニティの場をつくる。 (女性 50代)
- 子どもたちの安全のため、市内の公園や学校の帰り時間の通学路に、2～3人ずつのボランティアの見守りをお願いします。母親がやむを得ず、暗くなるまで働いている家庭の子どもたちを、見守ってあげる人たちがいてくれたら素晴らしいと思います。子どもたちの安全が第一です。 (女性 50代)

- 一部の特定の人たちのみの活動のような気がします。できるだけ多くの人たちが大きな関心を持てるよう、まずは子育て支援を充実させてはどうでしょうか。子育ての終わった私たちがお手伝いできることなど、資格がなくてもできることがあると思います。人間性を育てることが今の日本の一番の課題のような気がします。(女性 60代)
- 地域コミュニティ活動に自然に参加できるように、まずは声かけ運動から始めたらどうだろうか。(女性 60代)
- 川のごみが多いと思います。毎月一回程度、大人と子ども、中学生で清掃する行事をつくるのはどうでしょうか。子どものためにもよい教育だと思います。大気汚染を少なくする努力もさらに進めてほしいです。また、市で行うコンサートなどの文化的催しをよくわかるようにPRしてほしいです。(女性 60代)
- 子どもが大きくなり、年をとると地域とのコミュニケーションが少なくなっています。同年代の人たちとのコミュニケーションが必要だと思います。(女性 60代)
- 最近、町内会に入らない人や、長く入っていたのに抜けていく高齢者がいると聞くようになった。それなりの理由があるからだと思うが、市民税を払っていても、広報紙もごみ袋も来ないのはかわいそうだ。高齢になったら町内一斉清掃から抜けてもいいとか、その人のできる範囲で入っていることはできないのだろうか。(女性 60代)
- もっと時間をとって活動してください。(女性 60代)
- 高齢社会の中で、清掃などの地域での奉仕活動が、とても負担になってきました。十分な配慮をしてください。(女性 70歳以上)
- 若者の意見を大いに取り入れて活動してほしい。(女性 70歳以上)
- テレビで、中国では、朝公園などで体を鍛えるための太極拳をやったり、老人のための運動器具があつたりするのを見て、うらやましいと思います。(女性 70歳以上)
- 子どもが集まるような催しをする。子どものころから地域となじみやすくなり、大人になっても抵抗なく活動に参加できるようになるとと思います。(不明 40代)
- 地域コミュニティ活動とは、非常に抽象的すぎてよくわかりませんが、活発でなければいけないといった風潮はどうかと思います。運動会とか子ども会、PTAなど、精神的にも時間的にも負担に感じている人は多いのではないのでしょうか。(不明 40代)
- 班長などが順番で回ってくるので、やむを得ずやっているのが実情です。自分の生活に余裕がないと活動できません。真夏に行われる地区の体育祭は、不健康で考えられません。もっとあり方を考えてほしいとずっと思っています。ほとんどの人がそう思っています。(不明 40代)
- 生活上の悩みなどの相談を受けつける地域コミュニティ活動が望ましいと思います。(不明 50代)
- 町内の人とのコミュニケーションが最近では余りなくなっている。せめて、何かあったときには町内の人々が助け合える、家族のような関係の地域コミュニティ活動を考えることが大切だと思います。(不明 50代)
- 最近ワンルームマンションが急増しており、家の近くのアパート住人がどんな人なのか、顔もわからない人が多い。そういう人たちに対する地域とのかかわりも考えてほしい。(不明 60代)
- 地域コミュニティ活動として、防災のために備蓄している品物の入れかえのときに、非常食の調理方法やテントの張り方などを教える。そうすれば、災害時に対応可能な体制となる。(不明 60代)

- 相互扶助は生きていく上で人として当然であるので、防災時の地域コミュニティ活動は重要であると思う。 (不明 60代)
- ごみの減量化、分別、リサイクル、廃油の活用方法など、前向きに実現できる方針の地域コミュニティ活動を目指してほしい。 (不明 60代)
- 若い人たちがほとんど参加しない。楽しみを加えた講座の開設やスポーツ講座などで、参加者をふやす必要がある。特に20代の参加が少ないので、20代をターゲットにする。 (不明 60代)
- 地域コミュニティ活動の果たす役割は小さくなっていくと思う。理由は近所づき合いが希薄になっているからです。また少子化に伴い、子どもも大人も昔ほど友達がなくなっています。この状態が進行すると、出会いも少なく、個人化してしまうのではないかという悲観をしています。 (不明 60代)
- 規模が小さいほうが活発な活動ができると思う。 (不明 60代)
- どんな小さなことでも、気がついたら話し合う場をつくる。 (不明 70歳以上)

地域コミュニティ活動の周知について (39件)

- どのような活動があるのかわからないため、わかるように、一年に一度広報紙などで紹介してほしい。 (男性 20代)
- 私は地域コミュニティ活動について、このアンケートが来るまで知らなかったので、まずは私のような年代の人に周知すべき。 (男性 20代)
- 地域コミュニティ活動の意味をしっかりと広報し、地域のみんなで活動できたらよいと思います。 (男性 30代)
- どんな団体があって、どんな活動をしているか詳しく知らないので、もっと情報を提供してほしい。 (男性 30代)
- どんな活動をしているのかわからない。PRなど、広報が不足している。 (男性 40代)
- だれでも簡単に参加できるフリーマーケットなどを充実することにより、地域のコミュニケーションを広げる活動が必要。そしてその場で市政などをPRするコーナーを設ければよい。例えば毎週中央公園に行けば、何か地域コミュニティ活動をやっているなど。 (男性 50代)
- 若い人の参加が少ない。学校及び行政で、子どもたちにもっと地元のよさをアピールしてほしい。 (男性 50代)
- 内容がよくわからない。まずは関心を持ってやっていこうと考えています。過去の世論調査をまとめて、傾向などを広報してみてもいいですか。 (男性 60代)
- 地域の人々への関心を高めるためより、積極的な広報活動を行ってほしい。 (男性 60代)
- 現在、自分の地域活動に対し、積極的に参加していないが、これは己の怠慢はもちろんだが、活動内容が不透明だからです。もっと情報の提供を望みたい。また、参加しやすい状況、状態であれば、より参加者もふえるのではないだろうか。 (男性 60代)
- 地域コミュニティ活動を具体的に説明し、呼びかけなどのPRが必要。 (男性 70歳以上)
- 今は子どもが小さいのでなかなか参加できないが、今後機会があれば参加したい。結婚して富士市に来たので、地域コミュニティ活動についてはわからないことが多いので、いつ、どんな活動を行っているのか、どうすれば参加できるのか、などの情報がほしい。 (女性 20代)

- まだ独身で、家族と住んでいるので身近に感じられず、今後機会があれば少しずつ知りたいと思う。 (女性 20代)
- 人とのコミュニケーションをとれる場をふやしてほしい。PRをもっとしたほうがよいのではないのでしょうか。 (女性 20代)
- 文化、スポーツ活動がより充実するとうれしいです。ペアーレ富士がなくなったので、気軽に新しいことにチャレンジできる場、またはその情報を発信する場が求められていると思います。 (女性 20代)
- アパートでひとり暮らしということもあり、そもそも情報が入ってきません。こちらから情報をとりにいくのではなく、与えられると興味を持てるかもしれません。 (女性 20代)
- 余り活動していることが感じにくい。 (女性 30代)
- より多くの住民に知ってもらう必要があると思う。おいしい食べ物などの地場産品で集客し、活動を披露するといい。 (女性 30代)
- 具体的にどんな活動をしているのかが、伝わってこない。活動をPRできるようなイベントの開催を望む。 (女性 30代)
- 富士に来たばかりで、まだ地域をよくわかっていない。 (女性 30代)
- 活動内容をPRし、新しい参加者をふやし、だれでも参加できるきっかけづくりなどを行うことが大切だと思う。 (女性 30代)
- 活動していることも知らなかったです。役所では当たり前のことのように知っていることは、市民は知っているのでしょうか。知人で活動している人はいないと思います。 (女性 30代)
- どこで、どのような活動をしているか、どうしたら参加できるのかなど、情報を充実してほしい。 (女性 30代)
- 地域コミュニティ活動のPRを積極的に行っていく必要があると思います。今回のような調査も、よい契機になると考えます。 (女性 30代)
- 地域の人がいつ・どこで・何をやるかすぐわかるように、ポスターや回覧板を利用する。そして気軽に参加できるようにし、リピーターがふえていくような内容の工夫が必要です。 (女性 40代)
- 地域コミュニティ活動についての広報を幅広くしていけばよいのではないのでしょうか。意外と知らない人が多くいます。 (女性 60代)
- PR不足だと思う。 (女性 70歳以上)
- どのような活動をしているのか情報も少なく、よくわからない。内容がわかれば、関心を持ち積極的に参加するのではないのでしょうか。 (不明 20代)
- おもしろく、驚きにあふれ、みんなが参加したくなる行事をPRする。夏祭りのかぐや姫絵巻は毎年同じでつまらない。曲を楽しくしたり、パレードを長くしたりするなどの工夫が必要だと思う。また、地域の祭りを結集させてみるのはどうでしょうか。 (不明 40代)
- 内容がよくわからない。情報が無い。 (不明 40代)
- 多忙で、土・日曜日も休みを取りにくい人間も、何らかの形で地域社会に貢献したいと思います。どんなことができるのか、もっとわかりやすく広報してくれればよいと思います。例えば夜1時間だけでも、どんなことができるのか知りたいです。 (不明 40代)
- 回覧のチラシをもっと目立つようにするなど、みんなに知ってもらえるようなPRが必要。 (不明 50代)

- 各家庭に活動内容を説明する。 (不明 50代)
- 情報発信を充実する。 (不明 60代)
- 活動内容によっては興味を持てるもの、そうでないものがあるので、事前にPRしていただき、一人でも多くの人に参加できるようにしてほしい。 (不明 60代)
- どんな小さなことでも、組長から情報を詳しく知りたいです。 (不明 60代)
- さまざまなイベントに気軽に参加できるようなPRが必要。また、施設利用申し込みの不便さについてもさらに改善してもらいたい。 (不明 60代)
- 小学生のときから地域コミュニティ活動・ボランティア活動に関心を持ち、興味を抱くような教育を学校に実施してもらおう。 (不明 60代)
- 町内会単位、地区、地域コミュニティという言葉の範囲がわかりません。勉強不足なのか、市の説明不足なののでしょうか。 (不明 70歳以上)

地区まちづくりセンターの運営について (43件)

- 市の情報開示をさらにわかりやすくし、身近な情報とすべきである。そのために地区まちづくりセンターでも情報開示したらどうだろうか。 (男性 20代)
- 高齢者は地区まちづくりセンターを知っていると思うが、20代、30代には余り知られていないと思います。家族などで参加できるイベントなど行ってみたらいかがでしょうか。 (男性 30代)
- 地区まちづくりセンターの役割を理解していない市職員が多い。 (男性 30代)
- ひとり暮らしの人が孤独にならないように、あいさつ運動をしたらよい。市職員が17時15分以降、地区まちづくりセンターに出向し、閉館時間の延長をして地域の核になるように貢献してください。 (男性 30代)
- 地区まちづくりセンターが、特定の人だけが利用する会館になっている。あまり大きく活動せず、地域に密着させたほうがよい。 (男性 30代)
- 家族で参加できる講座や同郷の人たちで集まる機会をつくる。 (男性 30代)
- 子どもが小さいころ、地区まちづくりセンターで待ち合わせました。安心安全な場所にしたいですね。 (男性 40代)
- 今は不便で使いにくいので、充実した施設にしてください。 (男性 60代)
- 地区まちづくりセンターがどのように活用されているか実態を把握して、どの施設にも地域性を出していくことが大事だと思う。 (男性 60代)
- 地区まちづくりセンターが、以前とは大分変わってきましたが、さらなる活躍を期待しています。 (男性 70歳以上)
- 20年ぐらい前の成人学級は、民謡、詩吟、トレッキングなどいろいろな教室を、幅広い年齢層に募集し、老若男女の交流があったが、最近は教室の数や種目数も減り、年齢も制限されている。 (男性 70歳以上)
- 地区まちづくりセンターは近くにありますが、何に利用できるのかわからない。わかりやすく情報を充実させてもらえるとありがたいです。 (女性 20代)
- 楽しく、便利に利用しています。 (女性 20代)

- 参加したい地域コミュニティ活動があっても、小さい子どもがいる母親はなかなか参加できない。また講座などに託児があればいいと思ったことは多々あります。すべてにつけてほしいとは言いませんが、託児付きの講座などがいろいろな地域でふえたらうれしいです。(女性 20代)
- PR不足です。地区まちづくりセンターには子どもの予防接種以外に、選挙のときしか行ったことがありません。ごく一部の人の集いという感じが否めません。いかにも行政、お役所といった活動時間帯で、対応もいま一つです。(女性 30代)
- 子どもが小学校に入学したことにより、PTAや子ども会で活動する機会が少しふえました。もっとわかりやすくなれば、いろいろな形で参加できると思います。地区まちづくりセンターは薄暗く、静か過ぎて、なかなか訪れようとは思いません。(女性 30代)
- 高齢社会に向け、健康推進のための活動の充実を望みます。地区まちづくりセンターが軸になって、高齢者が孤立しないよう、コミュニケーションの場として機能してほしいと思います。(女性 40代)
- 大人の講座だけでなく、子どもたちが放課後に楽しく参加できる学習講座などを開催してほしい。まちづくりセンターへの名称変更にも、まだなじみません。(女性 40代)
- 今の地区まちづくりセンターは、入りにくいと思います。イメージを明るくしてもらい、用がなくても気軽に立ち寄れる施設にしてほしい。(女性 40代)
- 地区まちづくりセンターでいろいろな講座をやっていますが、夜の講座が少ないです。昼間は働いているので、夜の講座をふやしてほしい。(女性 50代)
- 地区まちづくりセンターをより活用できるように、健康のため、食育のため、友好交流のためなど、いろいろと利用できるようにしてほしい。(女性 50代)
- 会合が重なると駐車場が足りなくて困ったことがありました。いろいろな事情があると思いますが、もう少し駐車場を広くしてほしいです。(女性 50代)
- 中高年層のための料理教室を、年1回でもいいから、地区まちづくりセンターでやってもらいたいです。毎年期待していますが、なかなかありません。中高年層が気軽に参加できる教室があったらいいです。(女性 60代)
- 地区まちづくりセンターの利用条件が厳し過ぎる。あいている部屋がいっぱいあるのになぜ利用が認められないのか、という意見をたびたび聞く。一人でも多くの市民が活動に参加できるように、できるだけ柔軟な利用条件にほしい。(女性 60代)
- 地域コミュニティ活動とか趣味の会などで、地区まちづくりセンターをもっと手軽に利用できるようにほしい。(女性 70歳以上)
- 新しい地区まちづくりセンターは使いやすいが、古い地区まちづくりセンターは部屋が汚かったり、駐車場が少なかったりと使い勝手が悪い。(女性 不明)
- 公民館から地区まちづくりセンターに名称が変更されたが、看板や印刷物を変更するのは税金のむだです。(不明 30代)
- 地区の体育祭には、ほとんどの人は、本当に楽しんで参加していないと思う。昔からの行事だから続けるのではなく、型にとらわれず新しいことをしていきたい。地区まちづくりセンターは、時々しか機能を果たさないむだな施設だと思う。(不明 30代)
- 資格講座を充実させてほしい。また、土・日曜日や、平日の夜などにも開催してほしい。(不明 30代)
- 地区まちづくりセンターでは郵便切手を販売できないのでしょうか。(不明 40代)

- 市外から来た人は、医療や地域についての情報を得るのが難しいと感じます。地区まちづくりセンターで高齢者が子どもを一時預かりするシステムや、交流する場があればいいと思います。
(不明 40代)
- 子どもと地区まちづくりセンターをよく利用し、とても満足していますが、周りの人たちはほとんど利用していません。もっと利用していない人も利用してみたいと思えるようにPRが必要だと思います。
(不明 40代)
- 地区まちづくりセンターで主催する講座を、町内会の公会堂でも開催してほしいです。
(不明 50代)
- 地区まちづくりセンターを充実させるのもよいことですが、公会堂の利用をもう少しふやしてほしいです。
(不明 50代)
- 地区まちづくりセンターでは、地域住民が主体となって活動することが重要です。(不明 50代)
- 地区まちづくりセンターの成人講座で人気のあるものは、多数の申し込みがあり、なかなか受講できないときがあります。初めての人も受講できるようにしてほしいです。(不明 60代)
- 地区まちづくりセンターを利用していないためよくわかりませんが、地域を支えてくれる人たちがいることを常に感謝しております。
(不明 60代)
- 地区まちづくりセンターの講座に行くと、いつも同じ人たちが申し込んでいて、新しい人たちが受講できずがっかりします。これからは、一度受講した人たちは、翌年は申し込めないようにして、新しい人たちが受講できるようにしてほしい。
(不明 60代)
- 地域コミュニティ活動は、身近な町内から多く生まれると思います。しかし、町内の人たちが自由に使える集会所がない地区もあります。立派な地区まちづくりセンターができて、住民が自由に使用できないのであれば、むだだと思います。
(不明 60代)
- 市は、市民の希望、要望、意見を聞くようにしてほしい。地区まちづくりセンターには、市民の声を投函する設備をつくってほしい。そして地区まちづくりセンター長は、市民の声を取り次いでほしい。
(不明 70歳以上)
- 各地区の公会堂を利用しやすくしてほしい。
(不明 70歳以上)
- 天間地区に住んでいて、車の運転ができない人は、市役所まで行くのは、お金も時間も労力も必要で、大変なことです。こういう地域には、地区まちづくりセンターですべての用事が済むように、サービスをふやしてほしい。公平なサービスを受けられる施策を市に要望します。
(不明 70歳以上)
- 受講を希望しても、人員が多すぎて抽せんなどで漏れる場合があるので、なるべく希望がかなえられるような方法をとってほしい。
(不明 70歳以上)

行政の対応について (28件)

- 市政の情報よりも、地域の情報が多いので、市がどのような活動を行っているのかわからず不信感がある。改善してほしい。
(男性 20代)
- 公園が小さく、道路で遊んでいる子どももいるので、もっと安心して遊べる場所が欲しい。
(男性 20代)
- 役員などは行政職員が行い、住民は活動に参加するだけにする。
(男性 20代)

- 市民が無料でインターネットを利用できるようにしてほしい。 (男性 30代)
- 今後、ますます地域コミュニティ活動は重要となってくると思われる。住民、行政が一体となった活動をすぐにでも開始してほしい。 (男性 40代)
- 子どもと高齢者への支援が少なく、軽視していると思う。 (男性 40代)
- 青少年指導員としての望みは、子どもたちにたくさんの経験をさせてあげたいので、宿泊研修などで子どもたちが寝泊まりできる場所を提供してもらおうことです。 (男性 50代)
- 行政職員の積極的な活動をお願いしたい。 (男性 50代)
- 市長と市議会議員の改革が必要。税金のむだ遣いをやめてほしい。 (男性 50代)
- 行政が我々と同じ目線になることが必要だと思う。 (男性 50代)
- 地域活動は予算がなければ実現できない。また、防犯灯や消火栓がなければ、安心、安全なまちづくりはできない。予算配分に不満があるので、公平な運営を期待する。 (男性 60代)
- 展示ギャラリーが充実していたり、パソコンを自由に使えるサービスがあったりなど、特に用事がなくても行ってみたいと思える市役所にしてほしい。 (男性 60代)
- 行政職員は市民の公僕であることを忘れないようしてください。 (男性 70歳以上)
- 高齢者の健康のためには、歩くことが一番ですが、道路を歩いていても迷惑をかけることが多いです。そのため、別の運動のために室内プールの建設をお願いします。 (男性 70歳以上)
- 市職員は、市民のことを考えていないと思う。市役所に行っても不親切だし、手続も面倒である。自家用車で来る人はいいが、高齢者はバス、タクシーで来ている人も多いので大変だと思う。 (女性 20代)
- 市が地域のために積極的に取り組んでいて、中でも子育て支援はとても充実しているので満足している。しかし今は、さまざまな物価が高くなってきているから、その対策を考えてほしい。このままでは2人目、3人目の出産ができなくなってしまう。 (女性 20代)
- 我が家には小学6年生の子どもがいますが、児童手当を受給していません。先日児童福祉課から受給していない人も受給の手続きをしてくださいと封筒が届きましたが、中に申請に必要な書類は同封してありませんでした。その書類だけを送ってもらうのに税金が使われるのは嫌だし、平日は仕事で市役所にはなかなか行けないので、結局申請はしません。 (女性 30代)
- 周りの市町村のよい点を参考にして、よいところを取り入れたらいいのではないかと。また、市がもっと地域の人たちと話し合いをしたらよいと思う。 (女性 40代)
- アンケートなどを駆使して記入し、提出することができたらいいと思います。 (女性 50代)
- 地域住民と行政が対等の立場に立ち、互いに協力するとしても、行政から協力を働きかけてくれないと、地域コミュニティ活動は変わらないと思います。 (女性 60代)
- 地域住民が一つにまとまり、行政と対等な立場で意見交換し、互いに協力して活動しなければならない。 (女性 60代)
- 高齢者も若者も日々の生活に一所懸命だと思います。その中で、新規の活動事業は、健康で生活にゆとりのある人たちの理想論であって、ゆとりがない人が参加するのは大変だと思います。行事を多くするのではなく、行政が主体となり、現在の活動内容を充実させていくことがよいと思います。 (女性 60代)
- 核家族化に伴い、地域コミュニティ活動にかかわることが難しくなっている。働いている人は参加することが容易ではない。行政が、企業の理解を得るなど、参加しやすい環境を整えるよう、働きかけていくことが大切だと思う。 (女性 70歳以上)

- 行政に、個人の悩みや不満を訴える場が必要だと思う。 (不明 20代)
- 地域コミュニティ活動と言われても、参加したことのない人が多いのではないのでしょうか。私は、人と人とのつながりが大事だと思います。コミュニティ活動に参加した人たちが、最後に楽しかったと思えるように、慰労会を市が盛り上げてはいかがでしょうか。 (不明 40代)
- 行政が地域活動に頼り過ぎていると思う。これからの若い人たちは、自分に直接かかわること以外には、関心を持たないと思う。 (不明 40代)
- 日本でも凶悪な事件が後を絶たず、もはや地域で身を守るしかない。そのため地域一体となり、防犯、安全の確保に取り組むべきだと思う。市にはその予算化を期待したい。 (不明 40代)
- 住民の声が行政に反映されるようにする。 (不明 60代)

これからのまちづくりについて (21件)

- 地域によって活動の差が大きいと思う。マンションなどの集合住宅に住んでいると特に関係がなく、関心も少なくなってしまう。もっと溶け込んでいければいいのだが。 (男性 30代)
- J R 富士駅前の商店街で、毎月最終日曜日に開催されている楽々市に遊びに行くことがありますが、もっと出店数をふやしてにぎやかにしてほしい。 (男性 30代)
- 富士市民が、みんな仲よく笑顔であいさつしあえるような、笑顔の多い市にしたいです。 (男性 30代)
- 富士市は企業の多い市なので、企業と住民との理解を深めることが必要だと思う。 (男性 40代)
- 地震など自然災害対策を確立してほしい。また防犯対策も充実してほしい。 (男性 50代)
- 富士市に在住している外国人から、料理や生活技術などのよいところを学びとり、活用する機会をつくってもらいたい。 (男性 70歳以上)
- 高齢者が多く住んでいる地区に、若者が家を建てて住みたいと思っても、少し違和感があるので、若者が住みたいと思える地域づくりが必要だと思う。 (女性 20代)
- J R 富士駅に駅ビルを建て、もっと明るいまちにしてほしい。 (女性 20代)
- 富士市民でいる限り、子どもからお年寄りまで、自分のまちに関心のない人はいないと思います。どんなことでも、どんな人でも意見を述べるができるようにしてほしい。 (女性 20代)
- 私は数年後に富士市で個展を開こうと計画しています。私のような若者のためにもスペースを提供してほしいです。そういったところから、市やまちの印象は変わっていく気がします。 (女性 20代)
- 岳南鉄道を廃止して、バス専用道路にする。 (女性 30代)
- ウォーキングしやすいまちがいい。また、初めての人でも入りやすく、わかりやすい、特に若い人の興味を引く活動がいいと思う。 (女性 30代)
- バスなどの公共交通機関が少な過ぎます。 (女性 40代)
- 東京との結びつきを深くし、工業生産都市からの脱却をはかることを望みます。 (女性 50代)
- どこへ行ったら何ができるのか、よくわかるまちになるといいと思います。 (女性 60代)
- 子どもが小さいので、子どもにとって住みやすいまちづくりをよろしく願います。 (不明 40代)
- 国や県がやっていることを市がまねし、町内がまねしているおり、個性がない。 (不明 50代)

- 今後の富士市の財政は、よくなっていくとは思わない。市政は税金で運営していることを、市職員は把握してほしい。また富士市の財政は豊かでないのに、まちおこしを必死でやっている。
(不明 50代)
- ただ施設をつくるのではなく、住民の意見を取り入れてほしい。
(不明 60代)
- 商店街をシャッター通りにしないように、人が集まる魅力的なまちづくりをしてほしい。市、商店街、住民が知恵を出し、地域を再生させないと、富士市も過疎のまちになる。今が頑張るときだと思います。
(不明 60代)
- JR富士駅前の商店街を活性化してほしい。大手スーパーマーケットの進出により、住民は便利になったが商店は閉店や移転を余儀なくされ、今やシャッター通りと呼ばれゴーストタウン化している。非常に寂しく、何とかならぬものかと日々感じている。
(不明 70歳以上)

地域内などの交流について (15件)

- 地区内で交流しやすくする。
(男性 50代)
- 昔ながらの隣近所のつき合いが必要。
(男性 70歳以上)
- まずは近所づき合いから広めていく。
(女性 20代)
- 何をしているのかまったくわからない。私は都会から引っ越してきたのだが、よそものだと知られた途端、地域内で差別を感じた。環境、仕事、すべてにおいて閉鎖的であると思う。
(女性 20代)
- これから、ひとり暮らしの高齢者がふえていくと思うので、その人たちのケアを考えてほしい。
(女性 30代)
- 核家族がふえている今の時代こそ、地域、隣近所のつき合いが大切だと思う。
(女性 40代)
- 私の住む地区の人たちはうわさ話が好きで、私にはついていけない。
(女性 50代)
- 世代を超えた交流が必要です。
(女性 60代)
- 私の近所の子どもにお菓子や食べものをあげても、ありがとうと言えない。また親も子どもに注意をしない。
(女性 70歳以上)
- 住民一人一人が協力的ではないと思う。子どもときから地域の重要性を学ぶことが必要だと思う。
(不明 50代)
- 人と人との接点が欠けていることが、犯罪につながっていると思う。
(不明 60代)
- 隣近所のつき合いが少なくなり、あいさつをしない人も多い。これからは昔のように、隣近所と心のふれあうつき合いが必要と考えます。
(不明 60代)
- 小さな思いやりの心を持ち、少しでも心の通い合える社会が大切です。
(不明 70歳以上)
- 地域の人たちとのコミュニケーションが大切だと考えます。
(不明 70歳以上)
- 地域コミュニティ活動の前に、各家庭でのコミュニケーションが必要だと思います。明るく幸せな家庭が人間形成の最大の条件だと思います。
(不明 70歳以上)

その他（6件）

- 町内会長をしていた人が、防犯パトロールをしています。役員をやった人たちに、地区内の迷惑箇所を見回り指導してほしい。（男性 60代）
- 地域コミュニティ活動をこれからやるにしても、元気でなければ何もできないと思い、健康管理と食事に気をつけています。（女性 40代）
- 障害を持った子どもと、そうでない子どもたちが、もっとコミュニケーションをとれるような環境ができれば理想的だと思います。交通の便が悪く、病院に行くのが大変なので、将来は富士市ではなく横浜に引っ越したいです。（女性 40代）
- 大人が子どもに対して、昔のように注意をしたり、声をかけたりすることがなくなった。地域コミュニティ活動を考える前に、家庭のあり方を考え直したほうがよいのではないのでしょうか。（女性 50代）
- 子育ても終わり、余り地域にまつわる祭りや体育祭などが関係ない年代です。（女性 60代）
- 地域コミュニティなんておこがましい。わがままを通すところに見えて仕方ない。それよりも市民性をもっと温かいものにしてほしいです。（不明 70歳以上）